

招 集 期 日	令 和 3 年 9 月 22 日 (水)		会 議 の 場 所	301 会 議 室
会 議 の 時 刻 及 び 宣 告 者	開 会 の 時 刻	午 後 1 時 30 分	開 会 者	教 育 長
	閉 会 の 時 刻	午 後 2 時 15 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 教 育 長 職 務 代 理 者	出 席	岩 崎 智 子 委 員	出 席	
高 瀬 賢 一 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	細 村 学 校 教 育 部 長	清 水 生 涯 学 習 部 長	須 永 教 育 総 務 課 長	橋 本 学 校 教 育 課 長
	田 中 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	今 成 生 涯 学 習 課 長	佐 藤 ス ポ ー ツ 振 興 課 長	根 岸 図 書 館 長 兼 郷 土 資 料 館 長
書 記 名	教 育 総 務 課 総 務 係 横 山			傍 聴 人 1 名
会 議 事 件 名	て ん 末			
開 会 日 程 第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	教 育 総 務 課 長	本 日、1 名 の 傍 聴 人 が 有 る。		
	教 育 長	傍 聴 人 の 入 室 を 許 可 す る。 (傍 聴 人 入 室)		
	教 育 長	9 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会 教 育 委 員 会 の 会 議 は 公 開 が 原 則 と な っ て い る が、人 事 に 関 す る 案 件 等 に つ い て 出 席 委 員 の 3 分 の 2 以 上 の 多 数 で 議 決 し た 場 合 は 非 公 開 と す る こ と が で き る。本 日 の 日 程 の 中 で 非 公 開 と す べ き 案 件 は 無 い た め、全 て 公 開 と し て よ ろ し い か。 異 議 な し の 声 有 り		
教 育 長	8 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 に つ い て 諮 っ た。 異 議 な し の 声 有 り			

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 小・中学校における 第1学期の表彰等の 結果について</p> <p>報告事項2 令和3年度羽生地区 青少年健全育成地域 フォーラムの中止に ついて</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>教育長</p>	<p>前回会議録は、承認された旨宣した。</p> <p>報告事項1、2について、学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>北埼玉地区大会入賞相当、県大会出場、県展覧会入選等、県レベル以上の表彰について報告する。</p> <p>コロナ禍ということもあり、限られた内容となったが、小学校では、各校で埼玉県硬筆中央展覧会において多数の表彰があった。中学校では、埼玉県硬筆中央展覧会と埼玉県学校総合体育大会にて水泳競技、陸上競技で表彰があった。なお、水泳競技において南中学校の生徒が出場した関東大会の結果は、予選無しのタイムレースの競技方法で入賞には至らなかった。</p> <p>本フォーラムは、羽生地区の家庭・学校・地域社会が連携し、青少年の健全育成を目指していくことを目的として毎年開催している。今年度は10月12日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度と同様に、羽生市学校警察連絡協議会総会において中止することを決定した。</p> <p>なお、羽生市学校警察連絡協議会は、市内の小中学校、高等学校、特別支援学校の校長、PTA会長、各学校の生徒指導主任、羽生警察署生活安全課、羽生市教育委員会にて組織され、定例会を開催している。市内の児童生徒が警察署に指導を受けた事案の現状報告や、学校・警察・保護者が連携して取り組む対策等を協議している。</p> <p>本フォーラムは中止となったが、このような機会を通し、青少年の健全育成の推進に努めたいと考えている。</p> <p>報告事項3について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項3 学校給食センター職員による学校訪問の中止について</p>	<p>学校給食センター長</p>	<p>栄養教諭等の学校給食センター職員が市内小中学校を訪問し、「食に関する指導」を行い、給食状況を把握するとともに児童生徒と交流するため、例年10月から翌年1月の4ヶ月間で小中学校14校を巡回していた。しかし、昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、児童生徒との会食を伴う本事業の実施は適切でないと判断し、中止とした。</p> <p>食育指導については、年4回発行する「食育だより」において、賢い間食の取り方や食事のマナー、食事のバランス、朝ご飯の大切さなどを伝えるほか、給食の時間にその日の献立について、栄養教諭が作成した「給食一口メモ」を校内放送する等で実施していく。児童生徒との交流を図れないことが残念であるが、より良い学校給食の提供と食育に努めていきたい。</p>
<p>報告事項4 高校生インストラクター講座「透明骨格標本作り」の中止について</p>	<p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>報告事項4から7について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>高校生インストラクター講座は、市内の高校生が地域の方々を対象とした講座の企画・立案及び講師を務めることによって、地域社会への積極的な参画意識の醸成を図ることなどを目的に開催している。</p> <p>今回は、羽生第一高等学校科学部の生徒が講師となり、「透明骨格標本作り」と題した講座を9月18日に開催する予定であった。広報8月号などで参加者の募集を行った結果、17名の応募があり、開催に向け準備を進めていたが、9月に入り緊急事態宣言延長の報道があったため、羽生第一高等学校と協議を行った。その結果、部活動について行動抑制が引き続き必要であるなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、生徒及び参加者の安全を第一に考え、やむを得ず中止することとした。なお、申込のあった17名には、中止の旨の連絡を済ませてある。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項5 第24回羽生市吹奏楽フェスティバルの中止について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>吹奏楽を愛好する学校や団体に、日頃の練習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に吹奏楽視聴の機会を開放することを目的として開催するものである。</p> <p>10月3日に開催を予定し、関係団体等と連絡をとりながら準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがたたず、かつ拡大傾向であること、また、参加団体の9割以上が中学校、高校の吹奏楽部であり、部活動について行動抑制が必要であると考えられるなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催することは適切でないと判断し、やむを得ず中止することとした。</p>
<p>報告事項6 令和3年度羽生市人権教育研修会の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>8月6日に産業文化ホールにて開催した。開催に際しては、入場時のマスク着用、検温、手指消毒を実施した他、式典の内容縮小による時間短縮や、座席を前後左右3席ずつ空けるなどの新型コロナウイルス感染症拡大防止策を十分に講じた。参加者数は231名であった。</p> <p>研修は2部制で、第一部では小学生2名、中学生1名が人権作文を発表し、第二部では元プロ野球選手の森本稀哲氏による「全力疾走～どこにもチャンスは転がっている」と題した講演を行った。</p> <p>参加者アンケートでは、人権作文の発表について「丁寧に考えた内容で立派だった。中学生は多面的な考え方ができていて感動した。」「どの作文からも人を思いやる心が伝わってきて自分も優しい気持ちになった。」などの感想があった。一方で「もう少しゆっくり読み上げるともっと感情が表れると思った。」との感想もあり、次回以降、指導改善をしてきたい。講演については、満足度の問いに対し85%が「大変よかった」「よかった」との回答であり、参加者にとって満足のいく講演であったと捉えている。今後どのテーマの講演を聴いてみたいかの問いには、上位はLGBTの人権について22%、子どもの人権について21%という結果であった。また、コロナ禍における研修会開催には多くの反響があり「緊急事態宣言中だから会場参集型ではなくオンライン研修が適切であった。」などの意見も多数いただいている。一方で、十分な感染予防対策の取組や、コロナ禍にも</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 令和3年度(第11期) 子ども大学はにゅう の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>かかわらず研修会を開催したことに対し感謝して下さる方もいた。これらの意見を、今後の事業実施の参考にしたいと考えている。</p> <p>人々の心の中には未だ差別意識が残っていて、その解消のためには、教育と啓発を粘り強く推し進めていくことが必要であるため、今後も引き続き、本研修会を実施していきたいと考えている。</p> <p>8月19日に埼玉純真短期大学及び株式会社キットセイコーを会場として開催した。参加者は、市内小学校4年生から6年生の14名であった。</p> <p>まず、入学式に続いて青少年相談員2名が子どもたちの緊張をほぐす「アイスブレイク」を行い、自己紹介やレクリエーションを楽しんだ。</p> <p>講義については、コロナウイルス感染症拡大防止対策として、規模を縮小して行った。1つ目の講義は「おもしろ実験講座～磁力・薬品・音の不思議マジックショー～」で、元小学校校長と、埼玉純真短期大学准教授を講師として、ペットボトルロケットや巨大空気砲など、テンポよく様々な実験を披露し、科学の世界に興味を湧く内容であった。</p> <p>2つ目は、「はにゅうの産業と歴史を知ろう～創業80年！世界が認める特殊ねじの製造～」と題し、株式会社キットセイコー社長の田邊弘栄氏により、ねじの歴史や宇宙事業、サーキットカーなどで使われているオーダーメイドの特殊ねじの製造過程を学んだ。</p> <p>3つ目は、「からだを動かすと音楽になる?!～音楽×プログラミングで広がる世界～」と題し、埼玉純真短期大学専任講師により、からだの動きに合わせて感知し音楽を奏でるプログラミングを体験し、音やメロディーを組み合わせてオリジナルの演奏を楽しんだ。</p> <p>修了式では、修了証書授与の後、子どもたち一人一人が感想を発表した。子どもたちの表情や姿勢から楽しかったことが伝わり、成長した姿を見ることができた。</p> <p>子どもたちが初めて聞く話や体験活動に目を輝かせていたこ</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項8 羽生市採火式の結果について</p>	<p>教育長</p> <p>スポーツ振興課長</p>	<p>とが、とても印象的であった。次年度以降も、参加型・体験型の講義をさらに充実し開催していきたいと考えている。</p> <p>報告事項8から10について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>東京2020パラリンピック聖火の元となる火をおこすため、8月18日に産業文化ホールにて開催した。市内障がい者施設関係者40名が参加し、各施設の代表者が絵灯籠にひとつひとつ火を灯していき、羽生市の火を採火した。</p> <p>緊急事態宣言下であったが、参加者を1施設5名以内に限定し、施設ごとの距離を保って観覧するなど、感染防止対策を徹底した上で無事に開催することができた。22個の絵灯籠やロウソクについては、市内障がい者施設の利用者や入所者が製作したものを使用した。</p> <p>参加者からは、「こんな形でパラリンピックに参加できてよかった。」「感動して涙が出た。」との声があり、本市の共生社会の実現に向けた取組の一つとなったと考える。また、当日は参加者を限定した開催であったため、広く市民に見ていただけるよう、採火式のダイジェスト版の動画を市ホームページに掲載した。式典翌日の新聞4紙に掲載されたほか、インターネットのニュースでも紹介された。</p>
<p>報告事項9 令和3年度ニュース スポーツ出前教室の開催について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>市民が気軽に楽しめるニュースポーツを中心とした教室を開催し、生涯にわたってスポーツに親しむことができるようスポーツ・レクリエーションの機会を提供する。11月14日から12月12日までの期間において、スポーツ推進委員が各地区の小学校体育館に出向き、ニュースポーツ等の指導を行う。</p> <p>種目は、昨年度スポーツ推進委員が考案した「筋力UP!体操」や市民体育祭の新たな種目として検討している種目などを予定している。参加費は無料である。</p> <p>開催にあたり、マスク着用や手指及び器具の消毒、検温の励</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項10 第39回 藍のまち羽生 さわやかマラソン大 会の中止について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>行等、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で実施する予定であるが、実施時期の状況により内容の変更や中止を判断するなど、事業を安全に実施するため、柔軟に対応していく。</p> <p>本大会は、ランナーの練習の成果を現す機会として開催し、市の陸上競技の競技力向上や強化・育成を図るとともに、日本全国から参加者の集まる本大会を、羽生市のPRの場として活用することを目的としている。</p> <p>開催予定日の令和4年3月13日に向けて、大会規模を縮小しての開催や、分散スタートの導入など、実行委員会や関係団体とともに開催方法の検討を重ねてきた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の発令や、医療体制の厳しい現状を受け、去る9月11日の実行委員会において協議を行った結果、参加者及び役員、スタッフ等の安全を再優先とするため、開催は適切でないと判断し、やむを得ず中止を決定した。</p> <p>なお、第39回大会は中止となるが、来る第40回の記念大会に向けて、感染症対策の検討のみならずコースの変更やゲストランナーの見直し、表彰、参加賞や選手サービスの見直しなどについて引き続き検討を行い、これまで以上に羽生市をPRでき、参加者に毎年参加してもらえよう大会を作っていきたい。</p>
<p>報告事項11 企画展「めざせ！羽 生の考古学博士」の 結果について</p>	<p>教育長</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>報告事項11について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p> <p>郷土資料館では、7月10日から8月29日までの期間で夏の企画展を開催した。市内の遺跡から出土した土器や埴輪及び発掘調査や整理作業で使う道具を展示した。入館者数は2,749名、1日平均62名であった。</p> <p>また、展示解説会を7月17日と8月8日に1日2回の計4回開催し、合計27名の参加があった。解説会でのアンケートでは、「市内に多くの遺跡があることを知ることができうれしい。」等</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項12 その他</p>	<p>教育総務課長</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>教育長</p> <p>柿沼委員</p>	<p>の感想があり、好評であった。</p> <p>その他の報告について説明を求めた。</p> <p>令和3年度版「羽生の教育」ができあがったので、ご覧いただきたい。「羽生の教育」は、9月27日から市ホームページに掲載し、市内公共施設等にも配布する予定である。</p> <p>「オクトーバー・ランアンドウォーク」について、チラシを配布した。</p> <p>民間の計測会社が実施しているランニングやウォーキングのイベントで、市民の運動を促すための取組として、広報9月号にも掲載した。イベントと言っても、会場に一同に会するものではなく、スマートフォンにアプリをインストールし、10月の1ヶ月間に歩いた歩数や走った距離を全国の参加者と競うというものである。歩数や距離に応じたランキングについては、個人の全国の順位や羽生市内での順位のほか、羽生市民の登録者が1つチームとなり、他の自治体と歩数や距離を競う全国自治体ランキングもある。</p> <p>これをきっかけに、市民が楽しみながら運動する習慣に繋がれることを期待している。なお、参加料は無料である。</p> <p>報告事項に関して、質問・意見を求めた。</p> <p>羽生市人権教育研修会について、参加者アンケートの今後聴いてみたい講演のテーマで、「LGBT」という回答が多かった。今までなかなか出てこなかったキーワードで、ここ最近聞かれるようになった言葉だと思うが、今後、どのように取り組んでいくのか、具体的な案があれば伺いたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習課長	<p>アンケートでは「LGBT」の人権について聞いてみたいとの回答が全体の22パーセントであった。委員がおっしゃったように、最近よく耳にする言葉であるが、一言で「LGBT」といっても、様々な人権問題があると捉えている。</p> <p>生涯学習課としても、この「LGBT」についての人権問題を何らかの形で取り組んでいきたいと思っている。その取組の方向として、まずは「LGBT」の人権についての啓発をしていかなければならないと考えている。今回は産業文化ホールに参集する研修会であったが、今後もより良い実施方法を検討し、多岐にわたる人権問題の一つとして「LGBT」をなるべく取り上げていきたい。</p>
	柿沼委員	<p>県内の高校でも「LGBT」の関係者を招いての講演が始まっている。生の話を聴くことによって受講者も改めて気づく場面があると思うので、色々検討しながら、今後の研修につなげていただければと思う。</p>
	教育長	<p>以前、北埼玉地区の人権教育推進協議会の中で「LGBT」に関する講師を依頼して研修会を行ったことがある。また、手引きのようなものがあれば活用し、委員の意見も参考にしながら進めていただきたい。</p>
	教育長	<p>今回、様々な行事について、準備・調整を重ねてきた中で、やむを得ず中止を決定したという報告があり、非常に残念に思うが、高校生インストラクター講座においては、既に申し込みを受け付けていたとのことであった。講座の中止に伴い、申込者17名に対し何らかの配慮はあったのか。</p>
	生涯学習課長	<p>講座への参加を心待ちにしてくださっていた17名の申込者に対しては、中止の連絡をするとともに、講師を務める予定だった羽生第一高等学校科学部の生徒から、講座で作成するはずだった標本を全員分いただいた。申込者に対し、提供を受けた標本を、希望があれば是非お配りしたいという案内をしたところ、現在14名が受け取りに来ている。</p> <p>講座を企画する側としては、申込者が興味をもってくれたこ</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 令和4年度当初教職員人事異動の方針</p>	<p>教育長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>とを大変嬉しく感じるとともに、中止となったことが残念であった。申込者には、次回是非参加して欲しいとお話した。</p> <p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>協議事項1について、学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>羽生市における令和4年度当初の教職員人事異動の方針の案を申し上げる。</p> <p>「基本方針」としては、埼玉県教育委員会の「令和4年度当初教職員人事異動の方針」及び「令和4年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」を踏まえながら円滑・適正な人事を行うこと、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努めるとともに特色ある学校づくりを推進すること、適材を適時に適所に配置する等、広範かつ適正な異動を推進すること、再任用職員の豊かな経験を生かし、適切な配置に努めること、教職員の任用については、各学校の状況を適切に把握し計画的に行うとともに、可能な範囲で新採用職員を任用し、学校の一層の活性化を図ることとした。</p> <p>「退職」については、職員の定年等に関する条例の定めるところによることとするほか、教職員の年齢構成不均衡を解消するため、勸奨退職制度の活用を図ることとした。</p> <p>「転任・転補」については、「基本方針」を踏まえ、学校間の均衡に十分留意して性別、年齢、免許教科など教職員の構成を考慮し、教職員組織の充実を図るとともに、人事の交流を積極的に行うこと、児童・生徒数の増減に伴う人事を重点的に行うこと、同一校在籍3年未満の者は、原則として異動を行わないこと、新採用の教職員については、採用後5年以内に異動を行うこと、教職員は、同一校在職10年以内に異動を行うこと、事務職員については、職務経験等を考慮した計画的、積極的な異</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第54号 羽生市体育館条例施行規則の一部を改正する規則</p>	教育長	<p>動を行うこととした。</p> <p>協議事項1について、質問・意見を求めた。</p>
	高瀬委員	<p>転任・転補について、採用後5年以内の異動を行う教職員と、同一校在職10年以内の異動を行う教職員は、何名該当するのか。</p>
	学校教育課長	<p>採用後5年以内の異動に該当する教職員は、小学校が6名、中学校が3名の計9名、同一校在職10年以内の異動に該当となる教職員は、小学校にはおらず、中学校は2名である。</p>
	教育長	<p>協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1は、承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第54号について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p>
	スポーツ振興課長	<p>本規則は、羽生市押印見直し方針に基づき、様式第1号「羽生市体育館使用(施設専用)許可申請書」及び様式第2号「羽生市体育館個人使用許可申請書」について、申請者の押印部分を削除するため、一部改正を行うものである。</p> <p>なお、施行日は令和3年10月1日とする。</p>
	教育長	<p>議案第54号について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>

会議事件名	て ん 末	
閉 会	教育長	<p>議案第 54 号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第 54 号は、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>10 月定例教育委員会は、10 月 13 日 午後 1 時 30 分より、301 会議室にて開催する。</p>
	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>